

別紙 1 わいせつ行為等に係る懲戒処分等事案の具体的な状況について

■本調査における「わいせつ行為等」の定義について

- 「わいせつ行為等」とは、わいせつ行為及びセクシュアル・ハラスメントをいう。
- 「わいせつ行為」とは、強姦、強制わいせつ（13歳以上の者への暴行・脅迫によるわいせつ行為および13歳未満の者へのわいせつ行為。）、公然わいせつ、わいせつ物頒布等、買春、痴漢、のぞき、陰部等の露出、青少年保護条例等違反、不適切な裸体・下着姿等の撮影（隠し撮り等を含む。）、わいせつ目的をもって体に触ること等をいう。
- 「セクシュアル・ハラスメント」とは、他の教職員、児童生徒等を不快にさせる性的な言動等をいう。

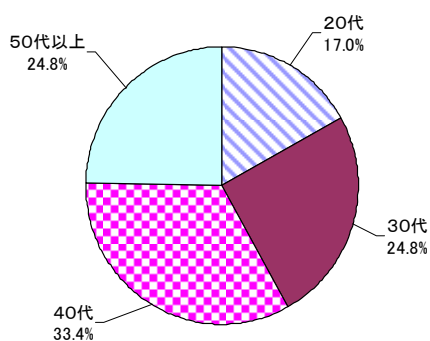
（1）被処分者の性別

被処分者の性別	人数(人)	割合(%)
男性	152	99.3
女性	1	0.7
合計	153	100.0

（2）被処分者の年齢層

被処分者の年齢層が最も多かったのは、「40歳代」であり、全体の33.4%（51人）を占めている。続いて、「30歳代」（24.8%、38人）及び「50歳代以上」（24.8%、38人）となっている。

被処分者の年齢



被処分者の年齢層	人数(人)	割合(%)
20歳代	26	17.0
30歳代	38	24.8
40歳代	51	33.4
50歳代以上	38	24.8
合計	153	100.0

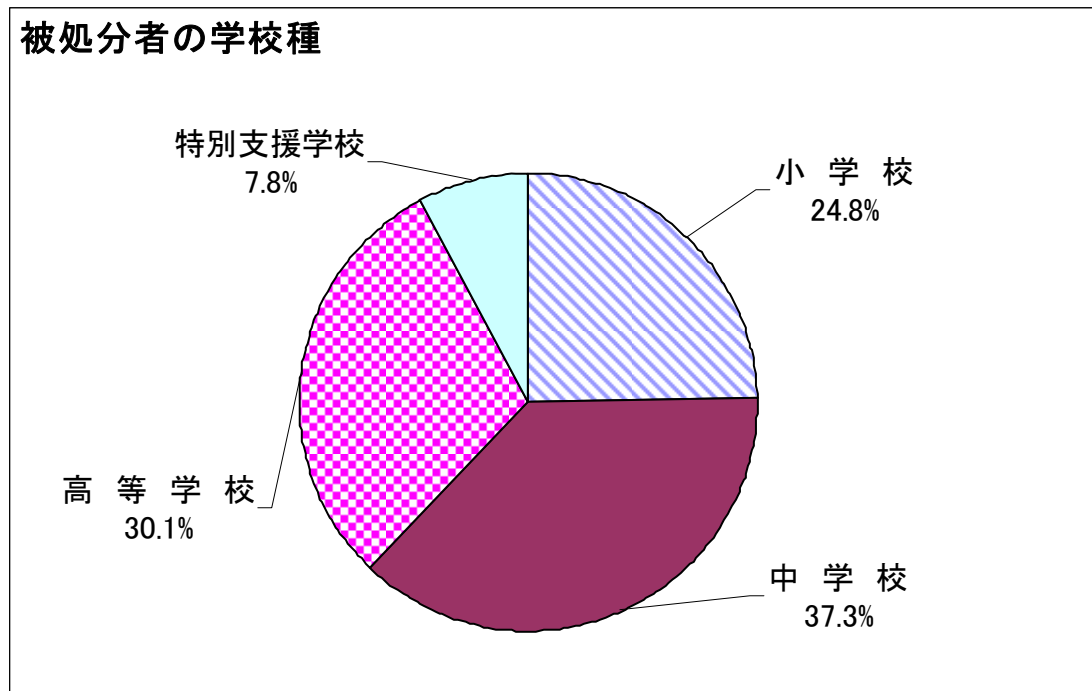
（3）被処分者の過去におけるわいせつ行為等に係る処分歴の有無

被処分者の処分歴	人数(人)	割合(%)
あり	5	3.3
なし	148	96.7
合計	153	100.0

※処分歴とは、過去にわいせつ行為等により「懲戒処分等」を受けた前歴のこと。

(4) 被処分者の所属する学校種

被処分者の所属する学校については、「中学校」が全体の37.3%（57人）を占めている。続いて、「高等学校」（30.1%、46人）、「小学校」（24.8%、38人）となっている。



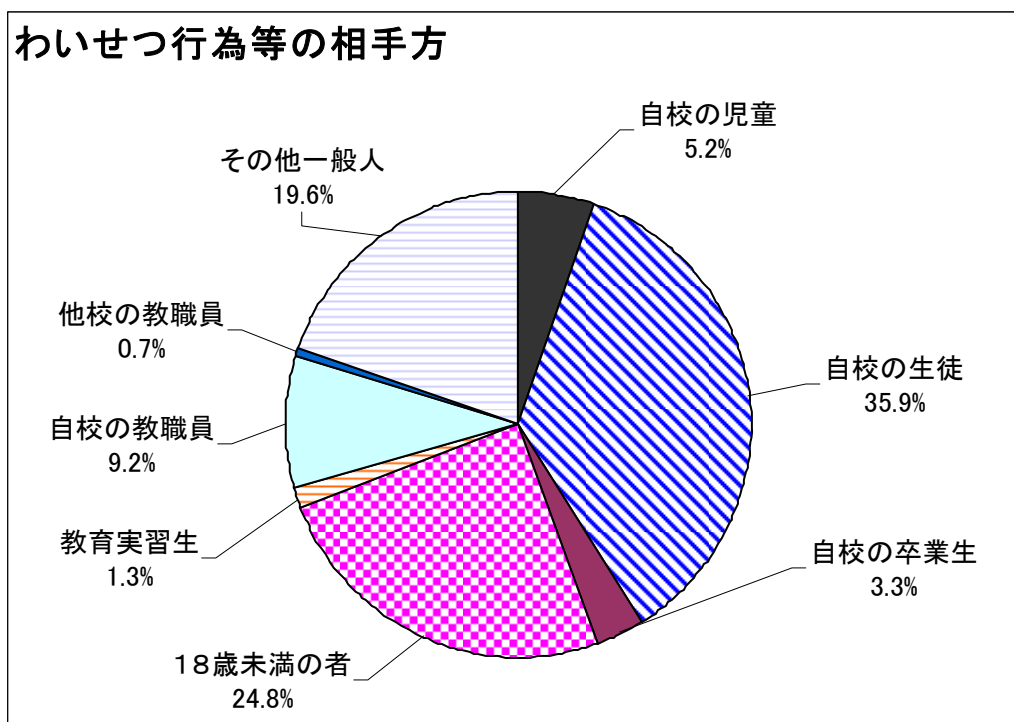
学校種	人数(人)	割合(%)
小学校	38	24.8
中学校	57	37.3
高等学校	46	30.1
中等教育学校	0	0.0
特別支援学校	12	7.8
合計	153	100.0

(5) わいせつ行為等の相手の性別

相手の性別	人数(人)	割合(%)
男性	9	5.9
女性	144	94.1
特定の被害者なし	0	0.0
合計	153	100.0

(6) わいせつ行為等の相手の属性

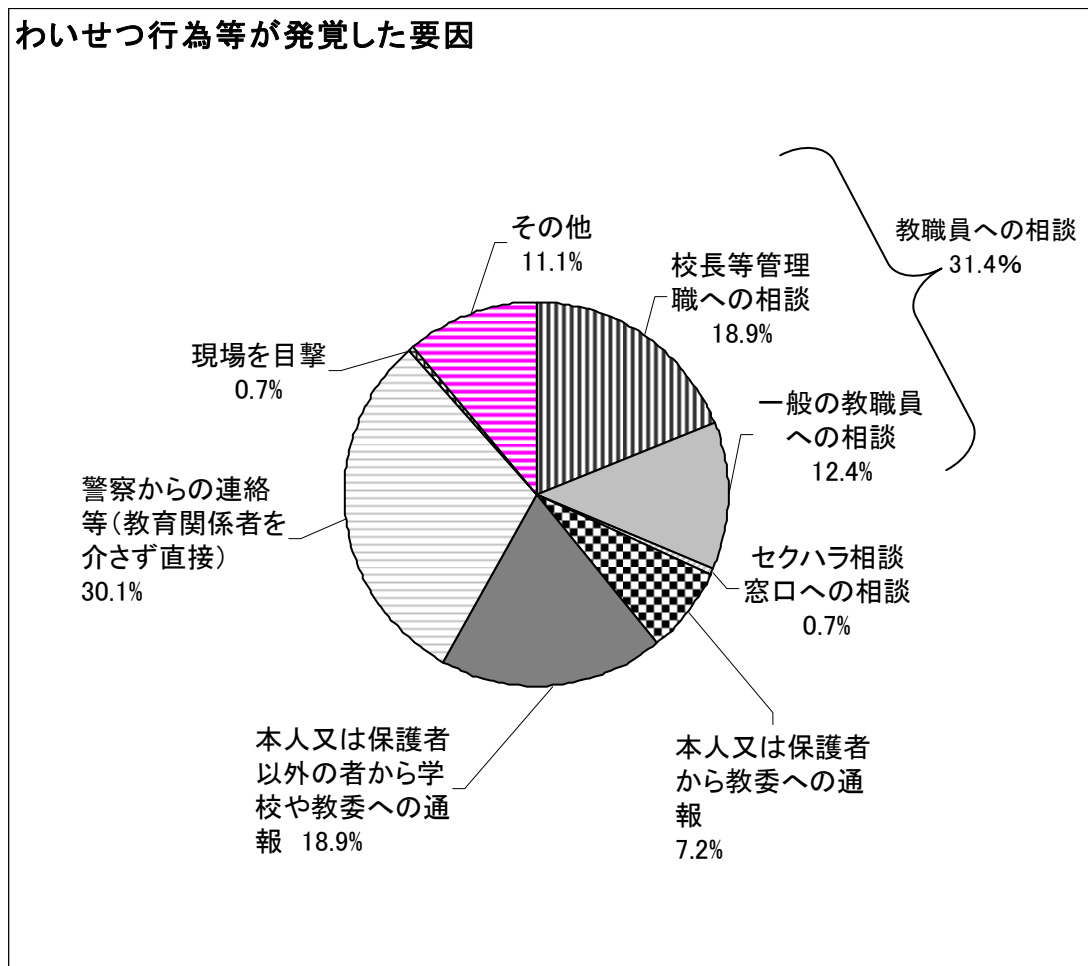
わいせつ行為の相手方の属性として、最も多かったのが「自校の生徒」(35.9%、55人)であり、続いて、「18歳未満の者(自校の児童生徒等以外)」(24.8%、38人)、「その他一般人」(19.6%、30人)となっている。



	相手の属性	人数(人)	割合(%)
児童・生徒等	自校の児童	8	5.2
	自校の生徒	55	35.9
	自校の卒業生	5	3.3
	18歳未満の者	38	24.8
	小計	106	69.3
教職員等	教育実習生	2	1.3
	自校の教職員	14	9.2
	他校の教職員	1	0.7
	小計	17	11.1
	その他一般人	30	19.6
	合計	153	100.0

(7) わいせつ行為等が発覚した要因

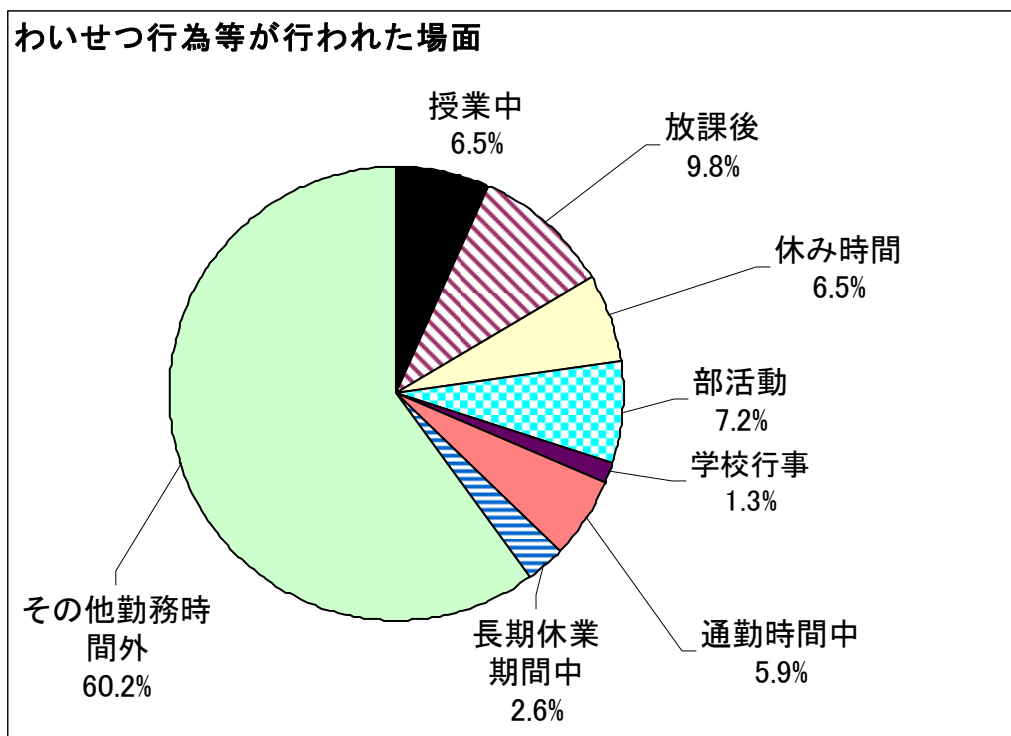
わいせつ行為等が発覚した要因で最も多かったものは「警察からの連絡等（教育関係者を介さず直接）」であり、全体の30.1%（46件）を占めている。続いて、「校長等管理職への相談」（18.9%、29件）及び「本人又は保護者以外の者から学校や教委への通報」（18.9%、29件）となっており、「校長等管理職への相談」に「管理職以外の一般の教職員への相談」をあわせた「教職員への相談」は31.4%（48件）である。



	わいせつ行為等が発覚した要因	件数(件)	割合(%)
の教職員へ の相談	校長等管理職への相談	29	18.9
	管理職以外の一般の教職員への相談	19	12.4
	スクールカウンセラーへの相談	0	0.0
	セクハラ相談窓口への相談	1	0.7
	本人又は保護者から教委へ通報	11	7.2
	本人又は保護者以外の者から学校や教委への通報	29	18.9
	警察からの連絡等(教育関係者を介さず直接)	46	30.1
	現場を目撃	1	0.7
	その他	17	11.1
	合計	153	100.0

(8) わいせつ行為等が行われた場面

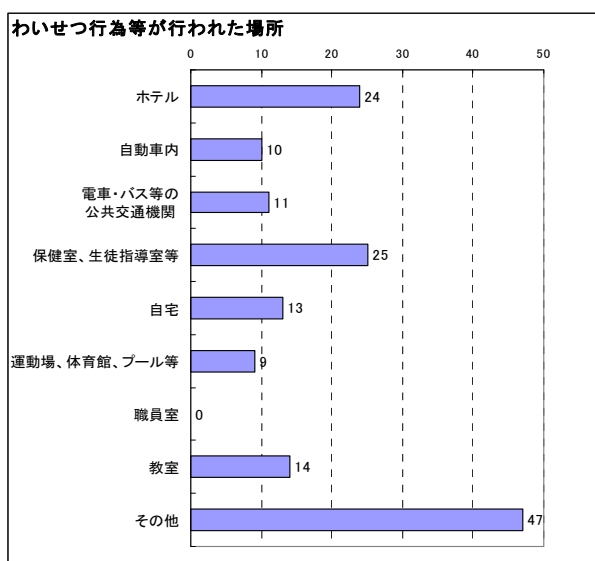
わいせつ行為等が行われた場面で最も多かったのが、「その他勤務時間外」であり、全体の60.2% (92件) を占めている。続いて、「放課後」(9.8%、15件)、「部活動」(7.2%、11件) となっている。



わいせつ行為等が行われた場面	件数(件)	割合 (%)
授業中	10	6.5
放課後	15	9.8
休み時間	10	6.5
部活動	11	7.2
学校行事	2	1.3
通勤時間中	9	5.9
長期休業期間中	4	2.6
その他勤務時間外	92	60.2
合計	153	100.0

(9) わいせつ行為等が行われた場所

「その他」を除き、わいせつ行為等が行われた場所で最も多かったものは「保健室、生徒指導室等」であり、25件となっている。続いて、「ホテル」24件、「教室」14件となっている。

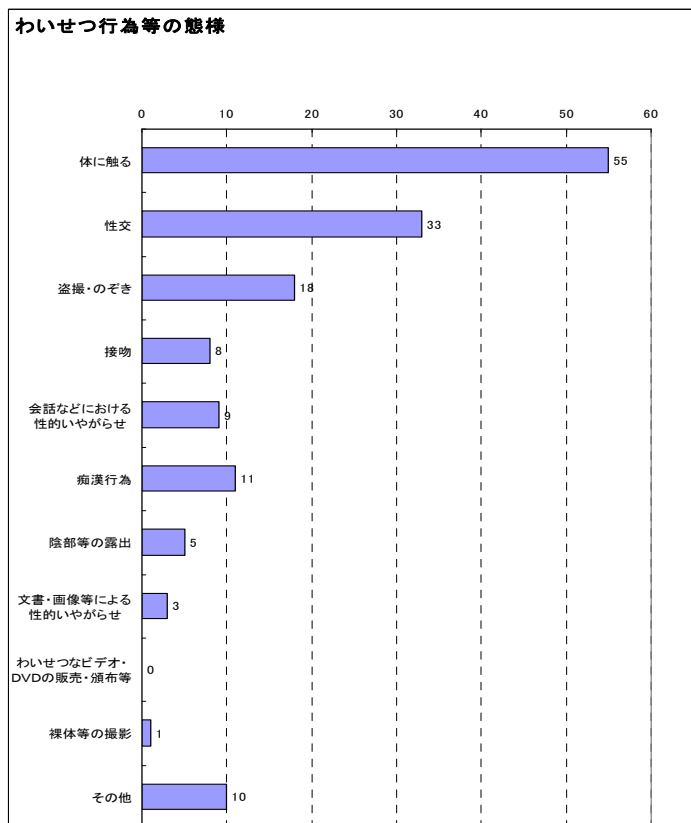


わいせつ行為等が行われた場所	件数(件)
ホテル	24
自動車内	10
電車・バス等の公共交通機関	11
保健室、生徒指導室等	25
自宅	13
運動場、体育館、プール等	9
職員室	0
教室	14
その他	47
合計	153

※該当事項が複数ある場合には、最も当てはまるものひとつを選択回答。

(10) わいせつ行為等の態様

わいせつ行為等の態様で最も多かったものは「体に触る」であり、55件となっている。続いて、「性交」33件、「盗撮・のぞき」18件となっている。



わいせつ行為等の態様	件数(件)
体に触る	55
性交	33
盗撮・のぞき	18
接吻	8
会話などにおける性的いやがらせ	9
痴漢行為	11
陰部等の露出	5
文書・画像等(メール等を含む)による性的いやがらせ	3
わいせつなビデオ・DVDの販売・頒布等	0
裸体・下着姿の撮影(盗撮を除く)	1
その他	10
合計	153

※該当事項が複数ある場合には、最も当てはまるものひとつを選択回答。